

## 2020-9 教育研究評議会議事概要

日時 令和2年12月16日(水) 13:30~14:25  
場所 オンラインにて開催  
出席者 駒田学長  
山本, 緒方, 尾西, 梅川, 伊藤(公), 楠井, 大高, 富樫, 野崎, 橋本, 西村,  
今西, 松田, 吉松, 吉本, 富本, 伊佐地, 藤田(伸), 鶴原,  
藤田(達), 須藤, 村田, 池浦, 森, 奥村, 吉岡, 三宅, 大野  
陪席者 服部監事, 小川監事, 豊福

### ◎ 前回議事概要の確認

学長から事前に照会した2020-8教育研究評議会議事概要(案)について、資料のとおり記録に留めたい旨の報告があり、了承された。

### I. 審議事項

#### 1. 三重大学男子学生寄宿舍規程の改正について

野崎副学長から、「資料：審-1」に基づき、男子学生寄宿舍の在寮期間の見直しに伴う三重大学男子学生寄宿舍規程の一部改正についての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### 2. その他 なし

### II. 役員会報告

#### 1. 第21~23回役員会について

学長から、令和2年度第21~23回役員会について、「資料：役-1, 参考資料1~3」に基づき、報告があった。

### III. その他報告事項

#### 1. 第3期教育研究評価に係るヒアリングの実施について

尾西理事から、「資料：報-1-1, 1-2」に基づき、第3期教育研究評価に係るヒアリングの実施について、令和3年1月28日(木)14時~15時に行われる旨の報告があった。ヒアリングは、文部科学省に提出した確認事項の内容を中心に実施されると思われるため、関係者には、引続き協力願いたい旨の依頼があった。

#### ◇主な意見等

○この評価によって、第4期の予算が増減することもあるため、しっかりと対応をお願いしたい。

○第4期中期目標中期計画についても、作成が始まろうとしている。第4期の場合、国立大学法人中期目標大綱が文部科学省から示されることとなっている。素案の情報では、25項目の中から、国立大学法人が方向性を選択するということだが、文部科学省から、国立大学協会あるいは大学に直接意見を問われる事になると思われる。中期目標大綱に関しても是非読んでいただき、ご意見をいただければと思う。特に次期学長及び次期執行部の方にはお目通し願いたい。

#### 2. 令和3年度国立大学法人運営費交付金の重点支援の評価結果(原案)について

企画評価課長から、「資料：報-2」に基づき、令和3年度国立大学法人運営費交付金の重点

支援の評価結果（原案）についての報告があった。本評価結果については、来年度の予算案の内示で確定となってくる旨の説明があった。

◇主な意見等

○三重創生ファンタジスタ資格認定副専攻コース学修者は、例年、年度初めの新入生ガイダンスで意向届の提出をお願いしているが、今年度は、新型コロナウイルスの影響で意向届の提出が非常に少なく、現在400名程度しか提出されていない。地域人材教育開発機構地域創発部門会議の委員には依頼しているが、評価が下がると予算にも影響するため、各学部研究科には是非ご協力願いたい。

3. 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等の報告について

尾西理事から、「資料：報-3-1～3-4」に基づき、国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等の報告についての説明があった。報告書の作成に関しては、全ての原則に対する実施状況等について、経営協議会及び監事による意見確認が求められているため、現在手続きを進めている旨の報告があった。

◇主な意見等

○ガバナンス・コードに対して、適合しているか適合していないかを公表することももちろん大切だが、このガバナンス・コードを構成員である教職員にお目通しいただくことは、非常に重要だと思うので、願いたい。

4. 2020年度国際交流協定締結状況の報告について

吉松副学長から、「資料：報-4」に基づき、2020年度国際交流協定締結状況についての報告があった。

なお、窓口教員について、既に退職又は来年3月に退職される教員の名前が挙がっている協定校については、新たな窓口教員を任命していただくよう、各学部研究科等の国際交流担当の教員に依頼している旨の説明があった。

◇主な意見等

○新型コロナウイルスの影響で難しい点もあるが、早く終息し、より活発な交流を進めていただくと良いと思う。

5. 全学教育実施体制の機能強化に向けた見直しと組織再編について

山本理事から、「資料：報-5」に基づき、全学教育実施体制の機能強化に向けた見直しと組織再編について、第4期に向けての課題、組織再編の重要性及び各学部研究科等からの意見についての報告があった。これらの意見を基に、改めて提案資料を作成し、更に検討を進める予定である旨の説明があった。

◇主な意見等

○教養教育も含めた様々な教育体制を、大学として責任を持って実施できるように整備するための機構改革と認識していただければと思う。執行部としてプランを提出していただいたが、各学部研究科長等をはじめ関係教員で活発な議論をしていただき、より良いものを作っていただきたい。

6. 「オンライン授業（遠隔授業）の成果と課題に関する教員調査」結果について

山本理事から、「資料：報-6」に基づき、「オンライン授業（遠隔授業）の成果と課題に関する教員調査」結果について報告があった。各学部研究科等において、FD等で内容を共有いただき、在来の課題について検討願いたい。全学としても情報共有及び次年度に向けての授業形態について議論を深めたい旨の説明があった。

◇主な意見等

○調査に協力いただいた教員及び資料をまとめていただいた地域人材教育開発機構の教学IR・教育評価開発部門の先生方には感謝申し上げたい。

○多大な時間と労力を使って調べた集計結果である。結果だけにとどまらず、利用に関しては、教育会議等を中心に、今後の教育の改善に結び付けて成果をもたらすようになれば喜ばしい。お目通しいただき、各部局あるいは全学的な教育改善の具体的な施策に結び付けていただくようお願いしたい。

#### 7. 新型コロナウイルス感染症対策にかかる実施経費の措置状況について（中間報告）

財務部長から、「資料：報－7」に基づき、新型コロナウイルス感染症対策にかかる実施経費の措置状況について中間報告があった。

続いて、人事労務課長から、特殊勤務手当（防疫等作業手当）の支給実績についての説明があった。

##### ◇主な意見等

○各学部研究科等においても、独自に様々な新型コロナウイルスへの対策をしていると思うが、今回は大学全体から予算措置をしたものとして把握しているものをご理解願いたい。

#### 8. 2020年度情報セキュリティ教育の受講状況について

梅川理事から、「資料：報－8」に基づき、2020年度情報セキュリティ教育e-Learning受講状況についての報告があった。未受講者のある学部等には、受講を促していただくよう依頼があった。

##### ◇主な意見等

○e-Learningについては、研修の種類が多いため、どの研修が受講を完了しており、どの研修を受講しなくてはならないのかが分かりにくい。分かりやすくなるよう検討いただけないか。所属教員に未受講者が分かれば、個別に指導を行うこともできる。教授会でも意見があったので、検討願いたい。

→可能であれば、総合情報処理センターの方で考えさせていただきたい。

→受講率100%が目標である以上は、その様なサービスも必要な気もするので、前向きに検討願いたい。

#### 9. 令和2年度標的型メール訓練の結果について

梅川理事から、「資料：報－9」に基づき、11月10日に実施した2020年度標的型メール訓練の結果についての報告があった。

##### ◇主な意見等

○重要な立場にいる方が感染するほど被害が大きいので、注意をお願いしたい。

#### 10. その他

##### ①年始の行事予定について

総務課長から、「資料：報－10」に基づき、年始の行事予定についての連絡があった。

##### ②生物資源学研究科オープンラボの開催について

奥村生物資源学研究科長から、「資料：報－11」に基づき、生物資源学研究科オープンラボ「コロナ禍をこえる生物資源学研究科の地域貢献」を令和2年12月25日（金）に生物資源学研究科大講義室及びZoomにて開催する旨の報告があった。多くの方に参加いただくよう依頼があった。

##### ③生物資源学部クラウドファンディングについて

奥村生物資源学研究科長から、「資料：報－12」に基づき、生物資源学部において、水産実験所の移転に伴い、学生がより充実した教育研究活動を行えるよう学生宿泊施設を整備するため、クラウドファンディングを行っている旨の報告があった。これまでに61名の方の寄附により、本日目標額の100万円を達成したことに対する謝辞及び目標額を引き上げて、引き続

き寄附をお願いする旨の説明があった。

④学長から、次期伊藤正明学長の依頼を受けて、令和3年4月からの学内理事予定者4名について報告があった。

また全学の情報共有と意見交換の場として、新たに、学長、理事、部局長及び副学長が出席する「全学マネジメント会議」を毎週木曜日13時30分から開催する予定である旨の説明があった。

以 上